

(5) 平成28年度学校目標

NO	視点	4年間の目標		取組の内容	
		(平成28年度策定)	1年間の目標	具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加を目指し、児童・生徒の実態を的確に把握し、入院中の学習保障をすると共に、柔軟かつ多様な充実した教育活動を実践する。</li> <li>・ICT機器等の有効活用による環境整備を推進し、多様な授業の実践・研究を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器等の有効活用による環境整備を推進する。</li> <li>②全ての教員がICT機器を活用した授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文科省「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」により、ICT機器等およびシステムを導入し、教室、病棟、ベッドサイドをつなぐことによる児童生徒の多様な学びの場を整備する。</li> <li>②同事業により整備されるICT機器等を活用した授業を実施し、事例を積み上げ、教育内容の充実と学習保障を図り、児童生徒の復学支援体制の充実につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①整備事業を受けて、ICT機器等およびシステムを円滑に導入し、児童生徒の多様な教育環境の整備を推進することができたか。</li> <li>②全ての教員がICT機器を活用した授業を実践し、教育内容の充実と学習保障を図り、児童生徒の復学支援体制の充実につなげることができたか。</li> </ul>
2	児童・生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒一人ひとりの個性や医療状況を尊重し、ニーズに応じた支援・指導を組織的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織的に支援・指導し、情報を共有するシステムを構築する。</li> <li>②教育相談報告様式や相談実践体制を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個別教育計画の様式見直しも含め、活用しやすい支援ツールの改善を図る。指導検討会、こころカンファレンス、肢体・重心連絡会等で情報を交換し指導方法・指導内容を確認し、チームとして指導に当たる。</li> <li>②教育相談報告様式や相談実践体制の見直し改善を図り、本校の実情に適したシステムの構築を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織的に支援・指導し、情報を共有するシステムを構築し、指導内容や指導方法、配慮事項等の情報を共有しチームとして支援・指導することができたか。</li> <li>②本校の実情に適した教育相談報告様式や相談実践体制を整理し、活用することができたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの将来の生活の充実を目指し、医療状況や復学時期への見通しに応じた進路指導・復学支援等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①復学支援・進路指導を組織的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①復学支援が必要なケースに応じて、コーディネーターと協働し、関係者による支援会議や地元校への試験登校を通じて実効的な支援を行う。進路指導では、進路専任を中心に進路指導の年間予定に沿って指導するとともに志望校、教育委員会等と連携し、受検方法、申請の手続きや、必要な移行支援を確実に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係者と連携を図りながら、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた復学支援・進路指導を組織的に円滑に行うことができたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小中学校へのコンサルテーションを実践し、さらに地域の特別支援学校へ支援をつなぐ。</li> <li>・病弱教育に関する理解や啓発を進めるため、地域の小中学校や特別支援学校へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①相談内容の情報共有や組織的な対応の基本的な流れと体制を構築する。</li> <li>②研修会やセミナー等を開催し、病弱教育に関する理解を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の小中学校へのコンサルテーションを実践しながら、相談内容の情報共有化を図るための仕組みを作り、組織として対応していくためのシステムを構築する。</li> <li>②公開講座「こども理解のための研修会」を年間2回実施し、県内の特別支援学校や児童生徒の前籍校へ案内を送り、病弱教育に関する理解を進める。文科省事業の推進や校内研究の成果を集録した「研究のまとめ」を作成し、ホームページや「南の風」通信などで本校の実践を他校へ発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①相談内容の情報共有や組織的な対応の基本的な流れと体制を構築することができたか。</li> <li>②公開講座を開催し、病弱教育に関する理解を進めることができたか。さまざまな機会や方法により本校の実践を他校へ発信できたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人格的資質、専門性の向上を図る。</li> <li>・限られた利用可能施設や、制約が多い環境の整備と最大限の活用を図る。</li> <li>・事故、不祥事防止を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器を全ての教職員が活用できるよう研修やサポートのシステムを構築する。</li> <li>②各種マニュアルの確認や内容の周知徹底を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①校内研究や研修会等を通し、ICT機器を用いた実践例や工夫などを報告しあい、指導内容、指導方法を共有し深め合う。</li> <li>②安心で安全な学校を作るために各種マニュアルの周知、確認を推進し、必要に応じて整備、見直しを図り、事故、不祥事防止を徹底する。特に転出入手続き等を関連職員と連携し、正確・迅速に行うシステムを構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器に関する研修やサポートのシステムを整備し、ICT機器を全ての教職員が活用することができるようになったか。</li> <li>②各種マニュアルの確認や内容の周知徹底を進めることができたか。必要に応じた改善を図ることができたか。</li> </ul>